

RRR 文部科学大臣賞(1件)

Reduce Reuse Recycle

文部科学大臣賞 「個人・グループ・学校」分野	受賞者名
	所在地
	受賞テーマ

長野県伊那市立伊那東小学校

所在地
長野県伊那市

受賞テーマ
「太陽熱を取り込み、節電を呼びかけ、紙・アルミカンを回収してエコを実践しよう」

同校は、20年前から、PTAによる「アルミカン・空き瓶回収」を通年行っている。校内の一角においた大きな容器に、年間を通じて父母がアルミカンを持ってくる。

3年前からは、上伊那広域連合環境衛生課がごみの減量化・資源化を推進するために実施している「ゴミ袋購入チケット回収事業」に参加。これは、各家庭がゴミを減量化して「ゴミ袋購入チケット」をなるべく使わないようにし、その余りチケットを1枚10円分として有効利用する仕組み。3年間で約6,500点を収集した。

平成23年度には、児童会に「環境エコ委員会」を設置し、“省エネ”のための、ポスター・模造紙・横断幕などを作成や更新した。「節電の仕方の説明」や「節電呼びかけ」のパネルを委員会が作成し、校内に多数掲示。毎週の、節電を呼びかける「エコパトロール」活動では、委員が当番で週2回、休み時間にプラカードを持って校内を巡視し、節電を呼びかけたり、無駄な明かりを消したりしている。他に「ボイラーガス節約」(自然エネルギー利用の推進)として、この年度はまず黒塗りのペットボトルを窓際に置いて太陽熱を吸収させ、冬の掃除のお湯に使った。

また、「全校環境クイズ」を実施し、省エネの目的を理解してもらうために、年に一度全校集会で環境問題の現状やそのための省エネの必要をクイズ形式で訴えている。児童会祭りではゲーム遊びの景品として、委員が夏休みを利用して約150個作成した「エコたわし」を配布し、児童が景品として持ち帰って、家庭での洗剤の不使用、エコたわしの利用を呼びかけた。職員の「地球温暖化問題」の研修会も実施し、係職員が地球温暖化の現状と、実行可能な節電や省エネの方法を全職員に1時間半講義をした。環境活動の呼びかけに応じて、有志学級が不要になった衣類を約170kg集め、NGOを通じて海外途上国に送った。送るための資金も地域を回ってアルミカン集めをして調達した。

平成24年度からは、紙のリサイクルによりネパールの植林活動へ協力している。紙をリサイクルした資金でネパールに植林活動をしている長野県安曇野市のNGO「カトマンドゥ」と連絡を取り合い、同校で紙を集め、業者に換金してもらったお金を送り、植林活動をしてもらい始めた。家庭からの使用済み牛乳パックを出してもらい、給食で出る牛乳のフタは全校児童約650名が、毎日このために提出。初年度は約312kgを集め、ネパールに約403本の苗木の植林をしてもらった。

「紙のリサイクルによるネパールの植林活動」への協力は、全校児童約650名が、牛乳のフタ出すという簡単な行為で、毎日「環境のために自分も協力している」という意識を持つことができる。環境エコ委員会では校内の壁面に、色画用紙で木の形にして「植えられた木の数」を表示し、収集活動の励みにしている。



途上国支援のアルミ缶集め



ネパールに「植えられた木の数」



途上国への衣類援助